

自動巻き上げ機の効果確認試験

JA新おたる

笠井 敏彦



電動カンキット①



電動カンキット②

試験目的

自動巻き上げ機の効果確認試験

試験作物
及び品種

ミニトマト

試験資材
及び数量(規格)

電動カンキット2セット

慣行資材

カンキット104



試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

電動なので慣行品と比べて非常に作業が楽になる。ハウスの換気が棟数が多いために非常にやっかいな作業となってしまう。これを改善するために上げ下げの苦勞から解放されることが大きなメリットとなる。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

特に問題無し。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：・作業性の向上。

・時間を省くことができる。

【問題点】：・初期コストが高い。

・長いハウスでは誤作動するのかが気になる。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

外装がプラスチックのため、紫外線によって劣化が心配される。初年度では問題なくても長期で使用する際に耐久性が気になる。

(5)保温効果について

慣行品と特に変わらないと感じた。

モニター感想

電源をハウスの近くまで引っ張ってくる必要があるが、問題なく使用ができた。作業も楽になることから、将来性のある資材と感じた。通常の巻き上げ機と価格差を考慮しながら導入の検討をしたい。

JA担当者の感想(購買課 栗谷係長)

魅力的な省力資材と感じた。初期投資が高額なのがネックであるが育苗施設などに有効と思われる。

今後は農業において人手が足りなくなる時代になると考えられ、省力化資材がより求められると推測される。

このため、機械の自動化に更に力を入れてほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。

耐久性の確認、越冬した時に春先にエラーが起きないか確認していきたい。

1 高温対策

2 青虫忌避効果

3 クリーンシート

4 機能性マルチ

5 育苗資材

6 酪農資材

7 省力化資材

8 その他